



みんなの
突撃インタビュー！

BRICOLAB
(ブリコラボ) 編



▲BRICOLABの永田さん

「子どもが子どもで居られる場所にしたい」



▲活動の様子

今回は、福井市内に拠点があるBRICOLAB(ブリコラボ)の永田弘幸さんに、ボランティアとして協力できる(関われる)内容についてインタビューしました！

Q BRICOLABはどんな団体ですか？

A 子どもの課題は、家庭の貧困や不登校など多岐に広がり、「学びの貧困」を解決したくて、2022年6月に立ち上げたNPO団体です。寺子屋のように子どもたちがお互いに学び合う環境をつくろうと、一軒家を使い、週1回、学んだり、好きなことを楽しんだり自由に過ごせる学習拠点を開いています。

Q 活動を始めようと思ったきっかけは何ですか？

A 障がいをもつ方々の働く場所を作る仕事に従事していた時、子どもの頃からつらい思いをされたという方にたくさん出会いました。子どもの頃から関わる中で、課題を少しでも早く緩和、解決できればと思いこの活動を始めました。

時間がないけれど子どもへの支援をしたいという方からの寄附もお待ちしています。ボランティア活動や寄附の問い合わせなどは、下記までお気軽にご相談ください！
<お問い合わせ>

特定非営利活動法人 BRICOLAB(ブリコラボ) 永田さん
ホームページ <https://bricolab-japan.com/>

Q ボランティアさんにメッセージを！

A 子どもが集まる所には、自然と大人を含めて人が集まります。人が集まると子どももその中で自分の役割を見つけます。障がいの有無に関係なく、子どもが子どもで居られる場所を創り、共に過ごす中で、子どもたちの笑顔を増やしていきたいませんか。

ボランティア
豆知識



BB Sってなに？

BB S (Big Brothers and Sisters Movement) は、少年少女たちに、同世代のお兄さんやお姉さんのような存在として、一緒に悩み、学び、楽しむことで、犯罪や非行のない明るい社会の実現を目指すボランティア活動です。市区町村や大学などを単位に全国に300を超える地区会があり、地域に根差した様々な活動を展開しています。特に、会員の半数は学生であり、県内でも4つの大学にBB Sサークルがあります。



▲8月9日に行われた、たちばな児童館での異文化交流の様子



そのうちのひとつ、福井工業大学ボランティア・BB S同好会は、2021年2月に結成され、現在48名が所属しています。現在、月1回の子ども食堂のお手伝いや、年1回のBB Sカフェ、近隣の児童館でのレクリエーションなどの活動をしています。

メンバーの皆さんは、「子どもたちからの『ありがとう』が嬉しいです。人のためだけでなく、自分のためにもなっています。」「私たちの同好会は、留学生が多いのが強み。自分たちらしさを活かして、子どもたちに喜んでもらえる企画をしています。」と話してくれました。

今後の展望について、「活動範囲を広げ、色々な場所で、子どもたちが楽しく過ごせるような居場所づくりをしていきたいです。」と熱く語ってくれました。